



- ①花が咲き誇るメイン会場の「長島サンセットの丘」
- ②フェスタ開幕日にオープンした「花カフェ長島」
- ③長島サンセットの丘に展示してある造形物
- ④開幕当日、入場ゲート前でのテープカット

長島の春の花祭り「第3回 夢追い長島花フェスタ（濱田重則実行委員長）」が、3月30日から5月6日までの38日間の日程で開幕しました。

この花フェスタは、メイン会場に長島サンセットの丘（町文化ホール周辺）を、フラワーガーデンとして川床ふれあいの郷が指定され、長島一周フラワーロードも含め、町内では50種50万本が見ごろを迎え、色鮮やかな会場となっています。

期間中メイン会場では、長島特産の赤土バレイシヨを

使った蒸かし芋のサービスと豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催。このほか、土日曜日を中心に、ジャガイモ収穫体験やフラワー体験教室、ゴルフデンウイーク中は、じゃがいも祭りにちびっこフェスティバルなど各種イベントが計画されています。

開幕初日は、町文化ホールでオープニングイベントとして「薩摩剣士隼人」キャラクターショーがあり、子ども連れの家族など大勢詰め掛けました。

同日、川床ふれあいの郷内

では「花カフェ長島」がオープンし、テーブルカットがありました。

花カフェ長島は、花をテーマにさまざまな体験メニューや飲み物を楽しんでもらう個性豊かさが特徴。初日から、花とコケなどを使う体験教室や長島に数少ないカフェとして厳選されたコーヒー、お菓子、町特産品の甘夏をその場で生絞したジュースが提供されました。

このほか、花カフェ長島自家製の、花の苗やこけ玉、長島特産のお土産なども販売

されていきました。

31日は、「春の木市inながしま」が開かれました。さまざまな植木などが格安で販売されることから、町内外から目的の植木を競り落とそうと、木市会場は大きな声が響き渡り、活気に満ち溢れていました。

開幕初日、薩摩川内市から訪れた小学3年の牛ノ濱志樹くんは「風車や海、花いっぱいのお場所はすぐきれい。キャラクターショーも見れて楽しかった」と満足の笑顔をを見せていました。

